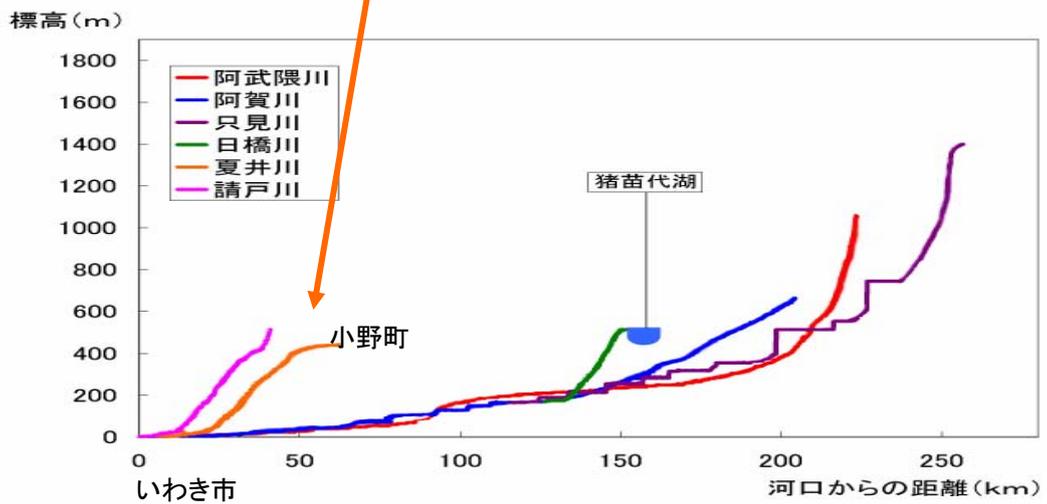
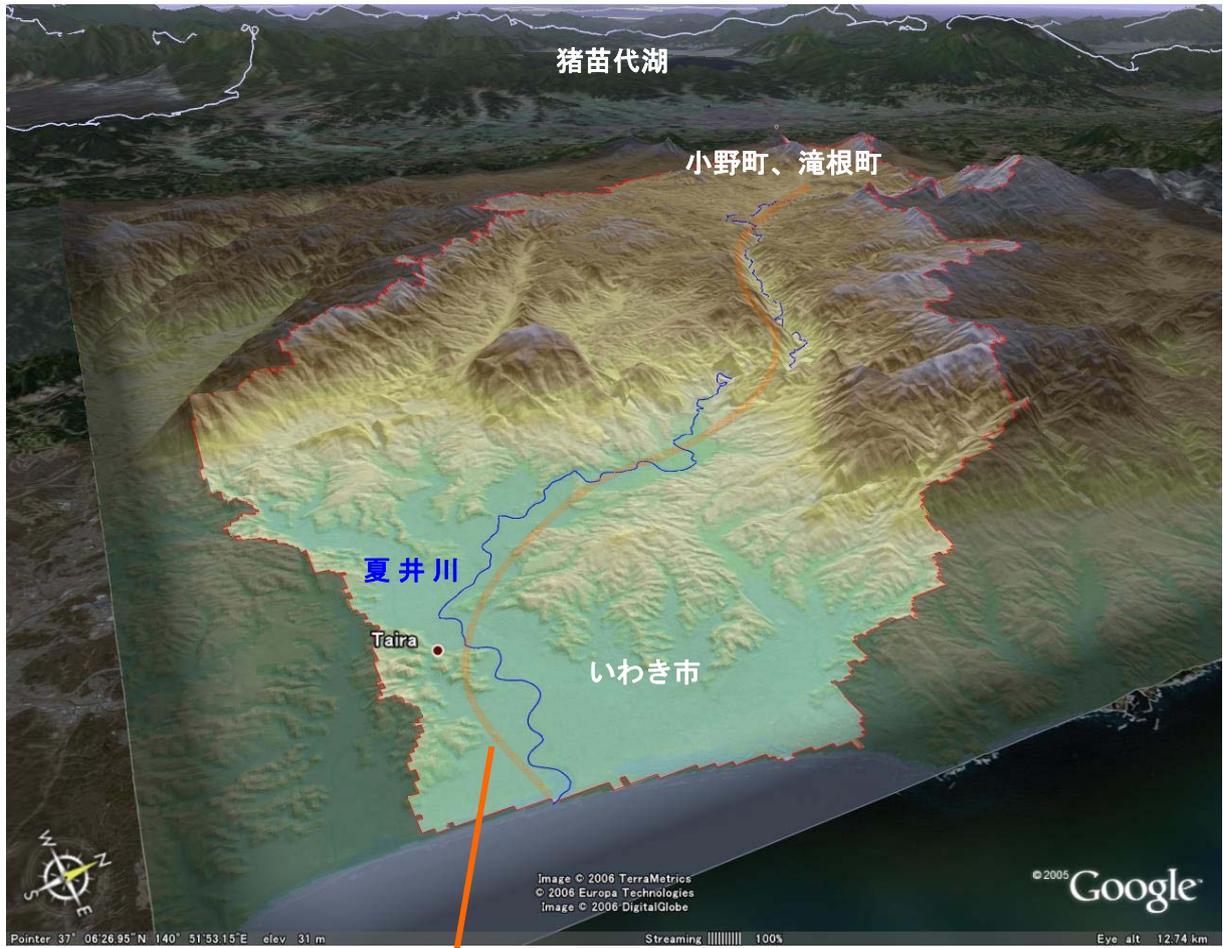


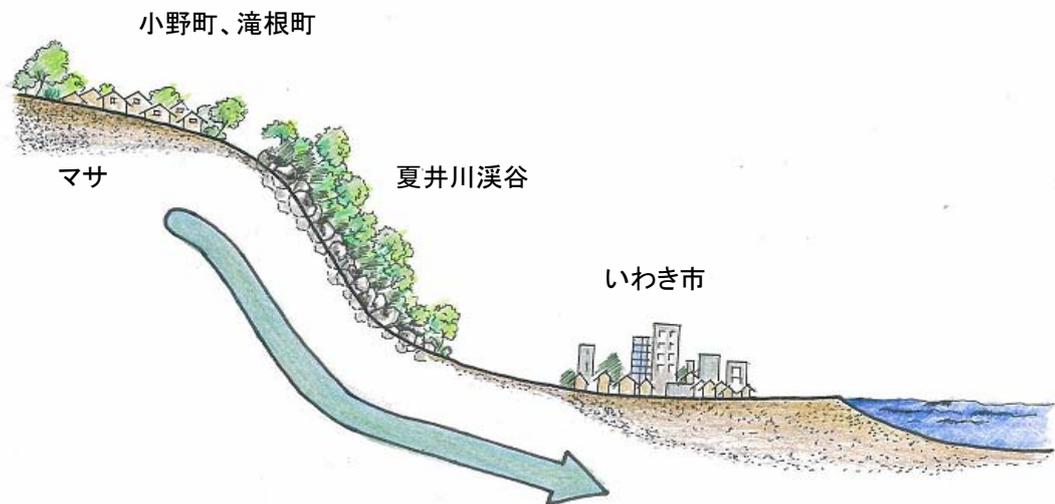
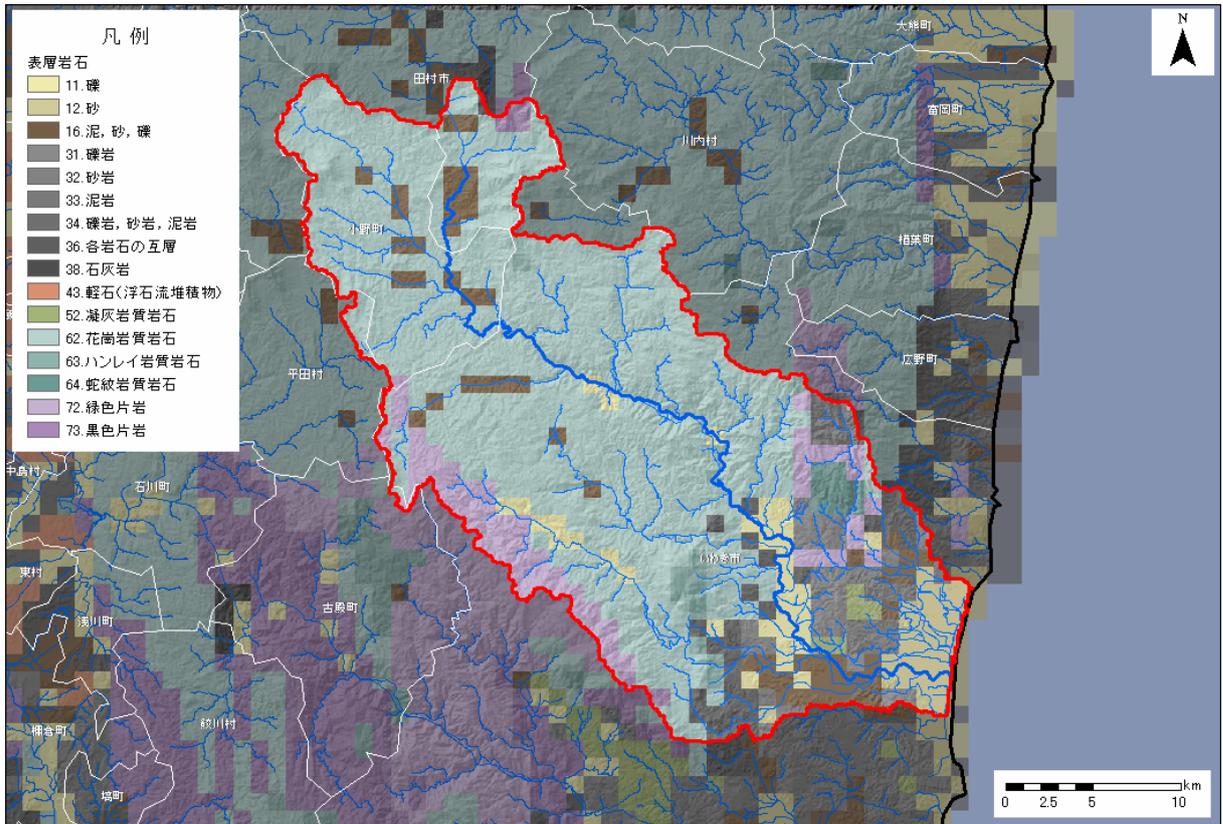
夏井川の地形



夏井川は、上流の阿武隈高地をゆるやかに流れ、中流の溪谷を急流で左右に蛇行しながら、下流の平らな土地のいわきへ注いでいます。

県内の河川とくらべても、上流が平坦で中流の急勾配で下流に注いでいる特徴が見えます。

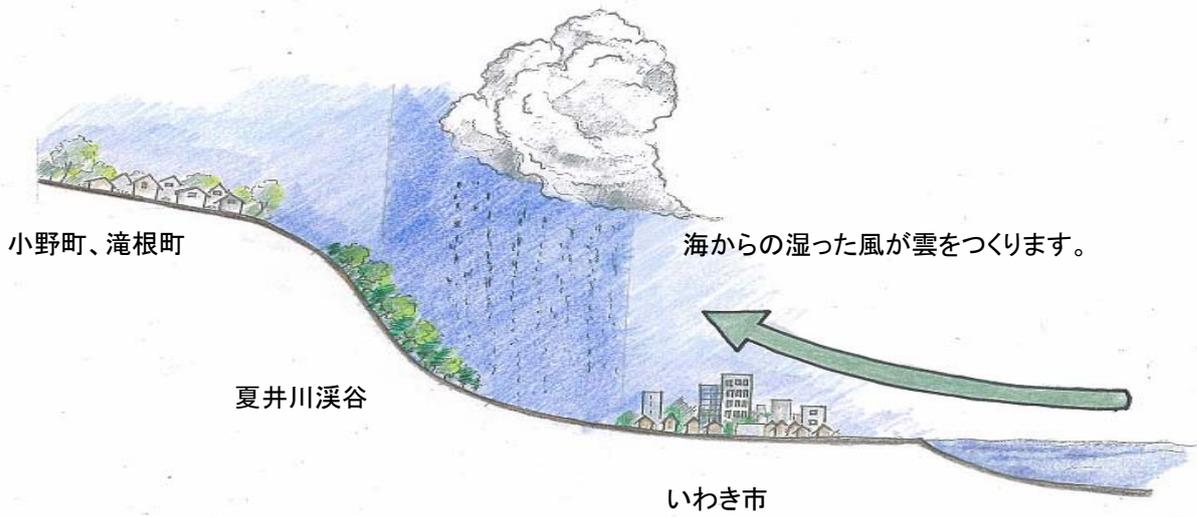
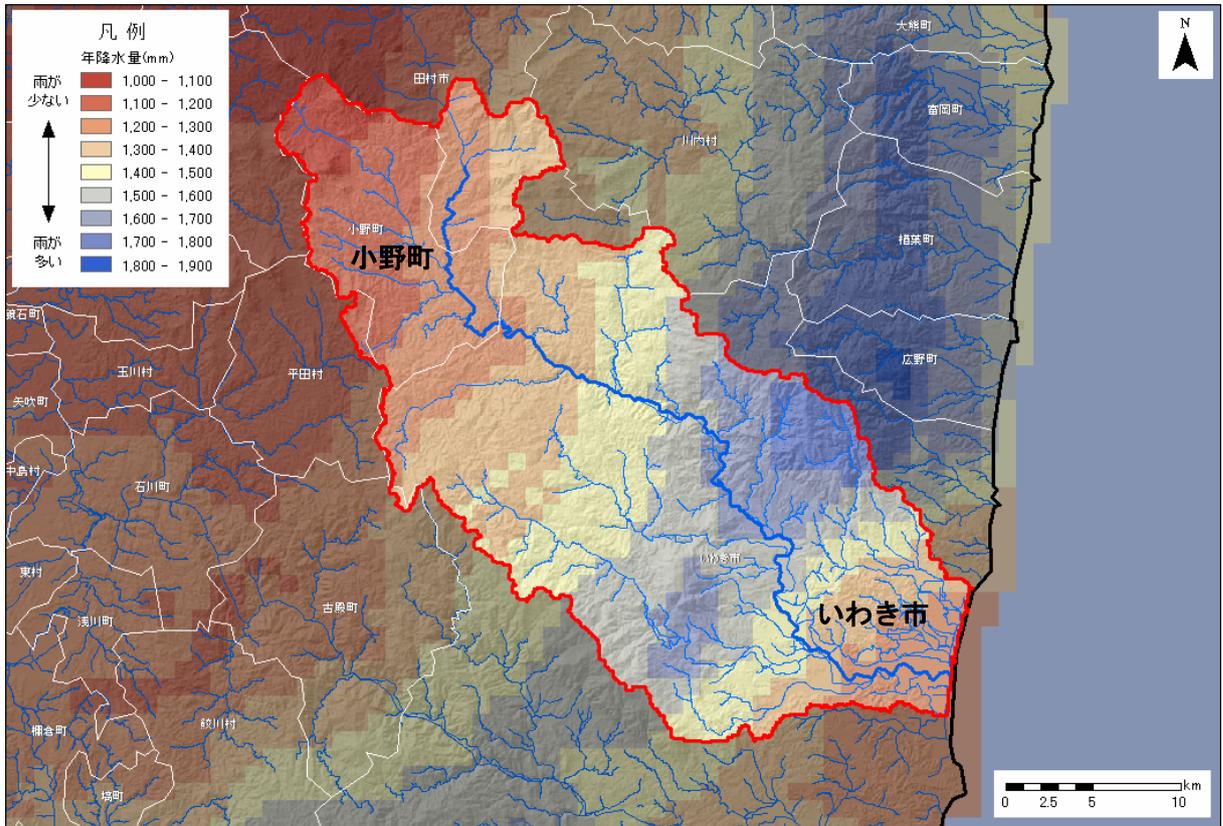
夏井川の地質



砂は急な溪谷を下り下流へ流れていきます。

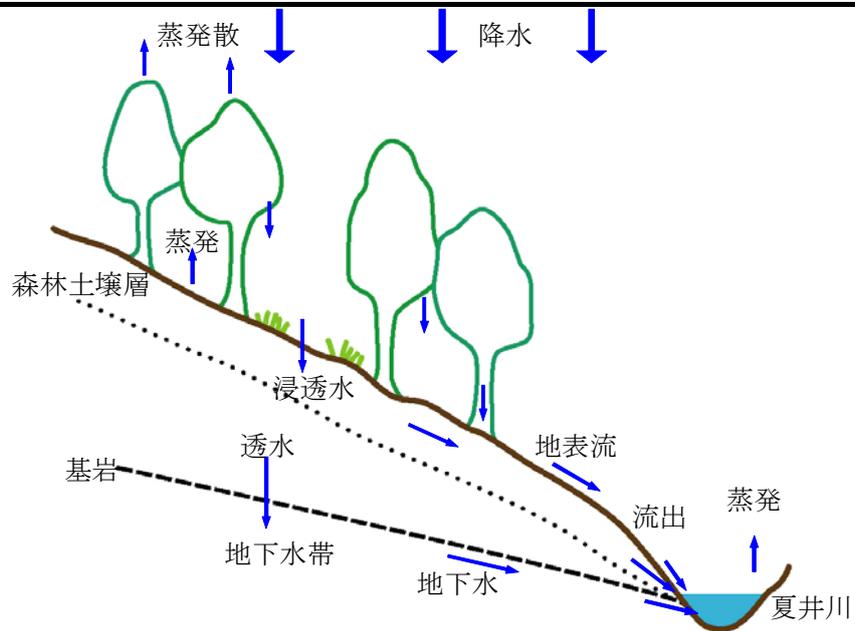
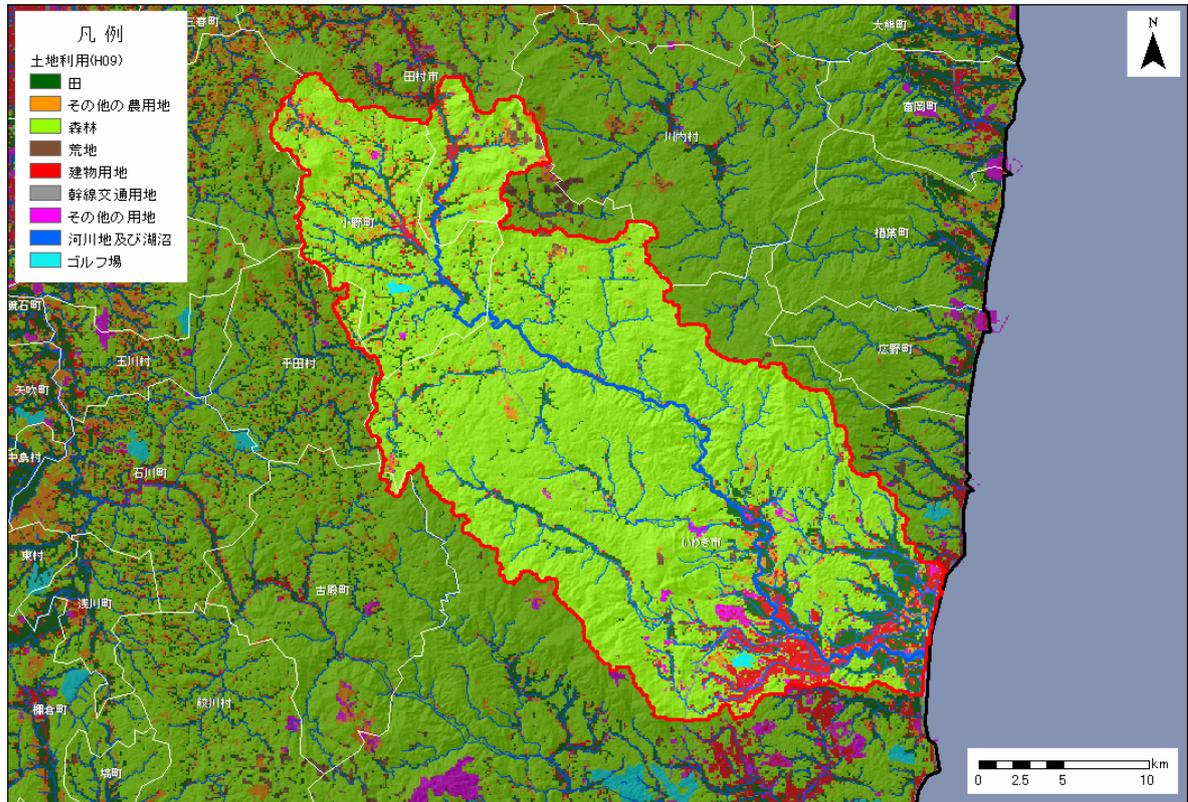
夏井川流域の地質は、ほとんどが花崗岩（マグマが地下の深い所で固まったもの）でできています。花崗岩は強い風化作用を受けて、マサと呼ばれる砂になり、夏井川の風景でもある砂の模様が見える川をつくっています。砂は川の流れによって、下流に溜まります。

夏井川の雨



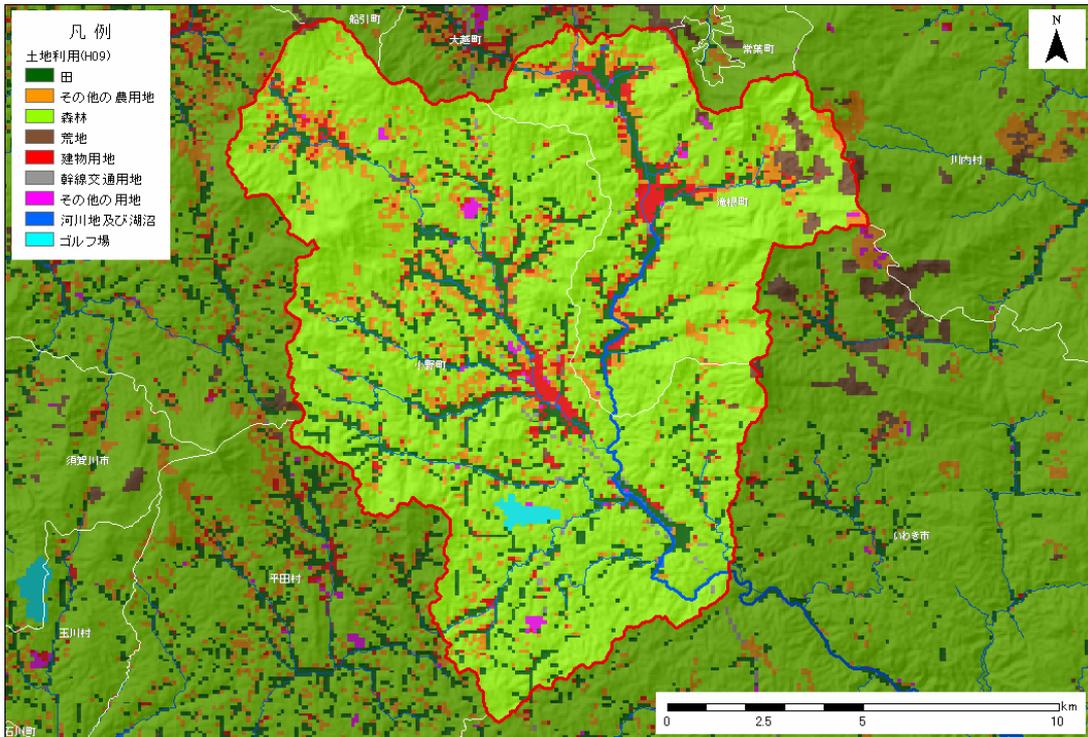
夏井川では、海からの風が阿武隈高地の斜面にぶつかって雲ができ雨を降らします。
そのため、中流で雨が多くなっています。

水を育む森・水田

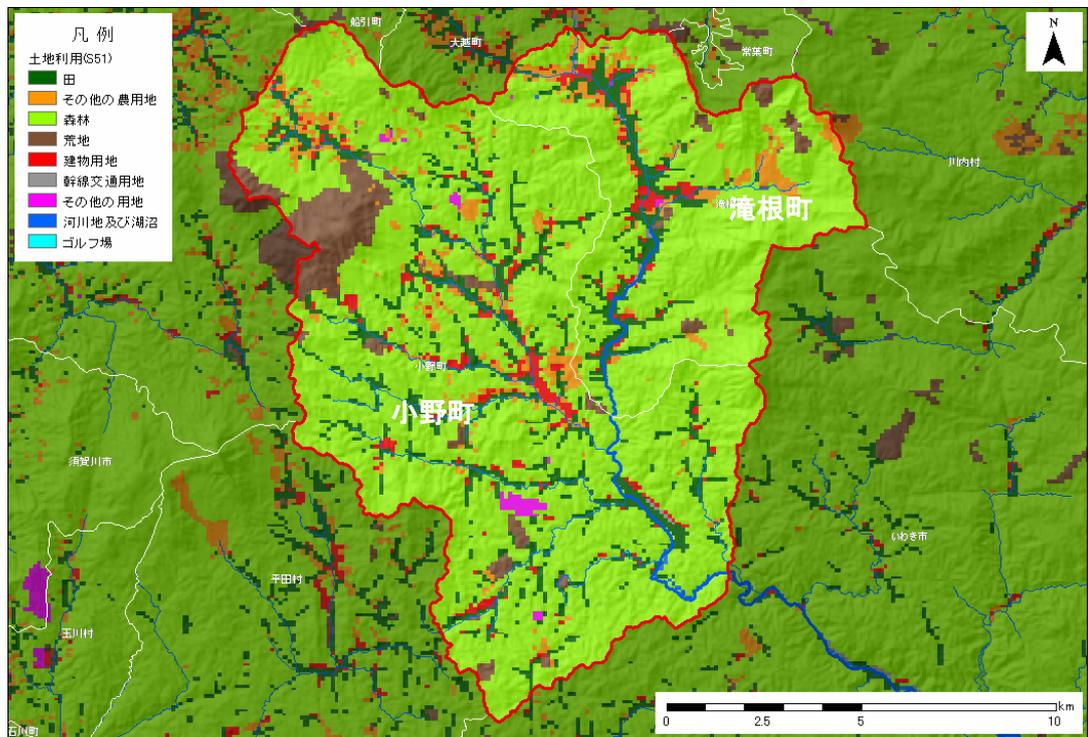


雨水は、夏井川流域の約 80% を占める森林に降りそそぎ、森林を伝い地面にゆっくりしみこみ、地面の中を伝って、夏井川の流れとなります。また、川沿いにある水田（面積率約 9%）も水を溜め、地面にゆっくりとしみ込みませ、地下水となります。

上流の土地利用変化



平成 9 年



昭和 51 年

川沿いの市街地化が進みましたが、荒地であった所の森林化（植林）も進みました。